

同窓会だより

'95/4 No.7 埼玉県立坂戸高等学校同窓会

坂戸市上吉田586
(0485) 81-3535

題字
山本清光先生

葵ちゃん募金

昨年度東松山文化会館でおこなわれた文化部総合発表会で卒業生神山光之さん(八回生)の長女葵ちゃんの心臓手術をするための募金活動をおこなったところ、たくさん募金があつまりました。

募金は「あおいちゃんを守る会」事務局へ送られました。その後順調に回復し、今は元気に学校へ通うまでに回復したということです。みなさんのご協力を感謝致します。



「今、同窓会は」

昨年二十一回生四三九名、今年二十二回生四五五名を迎え、会員数八六八四名になりました。

一昨年二十周年を記念して名簿を発行したわけですが、同窓会の活動として現在おこなっているのが「かえる祭」の春の文化部総合発表会です。

この中で同窓会が企画しているのがゲスト講演です。いままでの講演者は、タレントの古館伊知郎氏、琵琶演奏家の半田淳子氏、大東文化大陸上部の青葉監督、ズームインでおなじみのウィッキーさん、映画の山本晋也監督でした。今年には外人タレントのダニエル・カールさんをよぶことになりました。

ゲストを選ぶときに苦労するのが限られた予算であること、高校生を中心に話をして頂くので、どんな話をしていただけるのかということ、四月ということでゲストのスケジュールがはつきりするまじなかなかなか決まらない、ということです。

今回も三月の上旬までなかなか確定出来ませんでした。現在役員

同窓会会長 坂本 毅 (二回生)
の中でもどのように継続していくのか、検討を重ねていますが、どう考えていきたいと思っております。



最近の坂戸高校

坂戸高等学校長 横田安夫

今年、坂高が創設されてから、ちょうど四半世紀になります。同窓生、地域の方々、教職員の方々の努力のお陰で、坂戸高校は地域の方々から、高い評価を受けています。最近の高校は個性を伸ばす教育を目標に、それぞれ特色ある学校作りに取り組んでいます。坂戸高校でも地域の要望を受けて、外国語科が三年前に新設され、今年初めての卒業生を出しました。卒業生たちは期待通りの成果を挙げました。

高校受験が偏差値によらない、入れる学校から入りたい学校へと生徒の意志が尊重されるようになりました。坂戸高校も入りたい学校の一つで志願者が多いので、今年度は普通科が一学級増になりました。また、転編入推進校になり、一年生には三年間で十名の転入者を受け入れる枠が決められています。このように坂高も少しずつ変わっています。



母校近況

毎年この時期になると、坂高に在職しているということで、「母校近況」というタイトルで書いています。今まではすぐに書く内容が決まったのですが、今年は例年のようにはいきません。

まずは、生徒会の休止です。本校創設以来初めてのことで、生徒会役員の立候補者が出ないためです。

生徒の意識の向上が欲しい。また、職員の櫻井満先生(理科)が二月十八日逝去されました。昨年十月下旬より、入院なさっていました。ついには帰らぬ人となってしまいました。四十歳の若さでした。クラス担任、空手道部顧問として、ご熱心に指導なさってありがとうございました。誠に残念でした。ご冥福をお祈り致します。

このように、坂高にとってプラスの内容は少ない中で、唯一卒業生にとって嬉しい話題はギター部(顧問熊田・若海先生)が全国大会出場(八月五日・六日・新潟県)することです。ギター部は埼玉県高等学校文化連盟主催の全国文化祭に出場し、顧問会議で推薦され

吉田 勇一(四回生)坂高勤務

全国大会に出場が決まったそうです。また、五月七日(日)に文化会館で定演が予定されています。みなさんぜひご覧になって下さい。

最近坂高の学力が低迷していると言われますが、部活も、低迷している感じがします。卒業生の一々として、心配です。卒業生の皆さん、ぜひ母校に来て後輩を激励して下さい。

平成六年度同窓会総会報告

平成六年四月十七日、平成六年度同窓会総会が母校の「文化部総合発表会」と合わせて東松山文化会館で開催されました。

会長のあいさつの後、多誉会長のあいさつ、平成五年度事業報告、会計報告に続き、平成六年度事業計画案、予算案が審議され、承認されました。

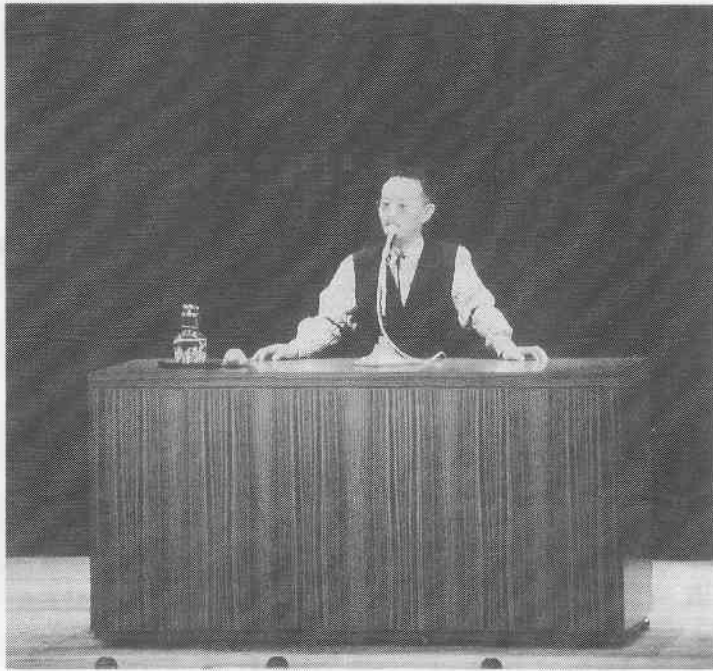
総会終了後、例年どおり立食パーティーで「卒業生の集い」が開かれ、約六十名の卒業生が参加し、なごやかなひと時がもたれました。





ゲスト講演

四月十七日東松山文化会館で開催された、「文化部総合発表会」の中で同窓会の主催するゲスト講演がおこなわれ、ゲストの映画監督でテレビでおなじみの山本晋也監督が約一時間にわたり、楽しいお話しをして頂くことができました。



同窓会に

よせて

卒業して十八年…

島野 正巳

(四回生) 坂戸市在住

早いもので、四期生として卒業して、もうそんなに経ってしまっただんですね。今では、坂戸高校の周辺も大きく変わったようです。今私は、公立中学校の教諭をしています。坂戸の中学校に十二年、鶴ヶ島に移動して二年目になります。

高校から始めたバレーボールを今も指導者の立場で続けています。教員になったきっかけは、バレー部の顧問であった伊藤潔先生の影響…なんと私の仲人も務めて頂きました。公私ともどもお世話になりました。

教え子たちもたくさん坂戸高校を目指し、私と同じ校舎で生活を送っている(いた)と思うと何か感慨深いものがあります。今の仕事を続けていく限り、きつてもきれない関係を続けていくことでしょう。もともとと頑張り続けなければ…。

部活動の思い出

曾谷 真理

(二十一回生)

坂高三年間、色々なことがありました。特に部活動では、色々な事を体験して学んできた気がします。

私が二年生のとき、インターハイで失敗してからはばくくの試合はずっと先生に怒られていました。もう何度もやめようと思ったりしましたが、まだ走りたいという意志と仲間たちの頑張っている姿を見て自分も頑張ろうと思いついてこれたと思います。今本当にやめないで良かったと思っています。続けていく中で仲間の大切さ、先生の大切さ、自分の気持ちの大切さがすごく大事だということが分かった気がします。

これから先、大学へ行ってからも陸上を続けるのですが、高校で学んできた事を生かして、また頑張りたいです。

最後に、陸上部の部員や私の友達、先輩、そして先生に感謝をこめてありがとうございます。

■平成七年度
同窓会総会資料

●平成7年度新役員

会長 坂本 毅(一回生)
副会長 小塚 市郎(三回生)
田中 康夫(四回生)
清水 芳昭(五回生)
小園 雅子(九回生)
常任議員 関根 和幸(十七回生)
水野 大輔(十八回生)
三宅明日香(十八回生)
半澤 伸夫(十九回生)
石井 裕一(十九回生)

監事 浅野 昭一(九回生)
細田 淳一(九回生)
吉田 勇一(三回生)
持田 秀男(七回生)

●同窓会評議委員(二十一回生)

一組 石井 哲生・上領 浩嗣
二組 青木 誠・鈴木 信博
三組 斉藤 義紀・栗嶋 美幸
四組 酒井 謙吾・金子明日美
五組 大野伊九磨・上村 紀子
六組 柳井 真・大塚比佐美
七組 瀬戸口恵嗣・和氣 愛子
八組 岸野真紀子・長谷川裕美
九組 永田 大・鈴木 真琴
十組 淡路 聡・笛木 学

平成6年度 会計報告 (単位は円)

1. 歳入

科目	予算額	決算額
繰越金	211,028	211,028
21回生入会金	1,768,000	1,768,000
雑収入	2,000	2,398
名簿売上金		7,500
合計	1,981,028	1,988,926

2. 歳出

科目	予算額	決算額
庶務費	100,000	86,523
会議費	150,000	97,956
慶弔費	30,000	0
事業費	1,700,000	1,754,844
(春の文化祭)	(1,000,000)	(754,844)
(事業準備金)	(700,000)	(1,000,000)
予備費	1,028	0
合計	1,981,028	1,939,323
繰越金		41,705

平成6年度事業報告

4月17日 総会 東松山文化会館
春の文化部総合発表会
ゲスト講演
山本晋也氏(映画監督)
「同窓会だより」第6号発行
9月10日 役員会
12月3日 役員会
1月28日 役員会
3月7日 入会式

平成7年度 予算(案) (単位は円)

1. 歳入

科目	予算額
繰越金	41,705
22回生入会金	1,820,000
雑収入	2,000
合計	1,863,705

2. 歳出

科目	予算額
庶務費	100,000
会議費	140,000
慶弔費	20,000
事業費	1,600,000
(春の文化祭)	(1,000,000)
(事業準備金)	(600,000)
予備費	3,705
合計	1,863,705

平成7年度事業計画

4月16日 総会 坂戸文化会館
春の文化部総合発表会
ゲスト講演
ダニエル・カール氏
「同窓会だより」第7号発行
9月 役員会 (A)E
12月 役員会
3月 入会式

編集後記

今回はいつも「同窓会だより」を担当している清水芳昭(五回生)が仕事の関係で作れませんでした。そこで今回はあまり良いものではありませんが、例年の同窓会だよりを参考にしました。

いかがでしょうか、これからも会員の皆様方のご協力をお願いします。

《同窓会だより》(第七号)
編集発行

埼玉県立坂戸高等学校同窓会
印刷 トキワ印刷所
〇四九三二一〇八六五

